

船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
循環器内科	冠動脈形成術を受けた患者の癌罹患率と予後についての調査	2010年1月以降に冠動脈形成術を施行した全ての患者さん	
副部長 沖野 晋一	冠動脈形成術を受けた患者の診療記録から、癌の既往と、術後の癌罹患率について調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	心不全患者に対するトルバプタンの効果と安全性の検討	2011年1月以降に心不全でトルバプタン投与を受けた患者さん	
副部長 沖野 晋一	トルバプタン投与患者について、診療記録から実際の投与方法と治療効果、安全性について調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	左室機能低下による左室内血栓発症についての調査	2013年4月以降に心筋梗塞発症後に入院した患者さん	
医師 芝山 納恵瑠	心筋梗塞での入院患者への抗凝固療法の有用性を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	急性心筋梗塞患者の左室血栓形成の臨床像に関する調査	2010年5月以降に急性心筋梗塞で入院した患者さん	
副部長 沖野 晋一	左室血栓を形成した急性心筋梗塞患者の臨床像及びエコー、心電図検査、投薬内容の特徴を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	冠動脈形成術におけるCT検査の有効性に関する調査	2010年5月以降に冠動脈形成術を受けた患者さんで冠動脈CT検査を受けた患者さん	
副部長 沖野 晋一	冠動脈形成術治療を行った患者に対する冠動脈CT検査の有効性を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査	2006年1月以降、当院で心臓植込み型デバイスによる治療を受けた患者さん	
医長 内山 貴史	我が国の心臓植込み型デバイスの植込み治療の実態を調査する。それによって、心臓植込みデバイス植込み基準の適性を検討する。	倫理委員会承認後から	2019年10月4日
脳神経外科	日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究4	当院で2015年1月1日～2019年12月31日までに脳神経血管内治療が施行された患者さん	
副部長 新美 淳	脳血管内治療の内容、合併症等を含めた治療成績についての後ろ向き登録研究。治療成績に影響を与える因子を研究する事で、今後の治療成績の向上に寄与することを目的とする。	倫理委員会承認後から	2020年2月28日
呼吸器内科	COVID-19に関するレジストリ研究	2015年1月から2019年12月の間に当院で緊急上部消化管内視鏡検査を施行し、胃十二指腸潰瘍を認めた患者さん	
部長 中村 祐之	本研究で収集されたレジストリデータは、今後の治療薬剤開発、臨床試験や臨床研究の実施などの方針や研究デザイン、エンドポイントを判断する際の資料となりえる	倫理委員会承認後から	2020年5月15日

船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
整形外科	胸椎・腰椎の脊髄腫瘍切除に対する椎弓形成術術後成績の検討	2002年1月から2013年12月の間に当院で胸椎・腰椎部の脊髄腫瘍切除に対し椎弓形成術を施行した患者さん	
副部長 鮫田 寛明	胸椎・腰椎の脊髄腫瘍切除に対し、後方要素を温存する椎弓形成術を行い、その成績を検討し今術式の有効性を検証する	倫理委員会承認後から	2020年5月15日
循環器内科	総大腿動脈の治療の現状と臨床成績に関する後ろ向き研究(CAULIFLOWER研究)	2018年1月から2020年6月に当院で症候性下肢閉塞性動脈硬化症又は総大腿動脈の症候性動脈硬化性病変に対する治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	本邦における症候性総大腿動脈病変に対する侵襲的介入(カテーテルまたは外科手術)の現状の把握と、1年(短期)、3年(長期)における有効性・安全性を検討する。	倫理委員会承認後から	2020年8月24日
循環器内科	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業	当院でカテーテルVADを使用した全ての患者さん	
医長 黒岩 信行	生存率や予後の改善等に影響を与える因子の探索(解析)を行い、今後の心原性ショック等の急性心不全の病態にある患者の救命治療についての臨床評価や臨床管理などに役立てる。また、カテーテルVADの臨床上的リスクとベネフィットを明らかにし、適切な安全対策の実施を推進するとともに、適正な使用の普及に役立てる。	倫理委員会承認後から	2020年11月20日
循環器内科	大腿膝窩動脈への血管内治療臨床成績に関する後ろ向き研究(eTECC 後ろ向きRegistry)	症候性下肢閉塞性動脈硬化症に罹患し、大腿膝窩動脈の動脈硬化性病変に対し、2017年1月以降に当院で血管内治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	大腿膝窩動脈領域の血管内治療に際し、昨今相次いで新規デバイス(薬剤コーティングバルーン、新規デザインのナイチノールステントやポリマー付きパクリタキセル溶出性ステント)が承認されている。本研究ではこれらのデバイスが使用可能となった以降に治療された症例を後ろ向きに検討し、本邦における治療現状の把握と5年までの慢性期における有効性・安全性を検討する。	倫理委員会承認後から	2021年6月25日
消化器内科	進行肝細胞癌治療において実臨床における全身化学療法の実施状況と有効性を検証する多施設後ろ向き研究(変更申請)	2018年3月26日から2023年3月31日までに当院でアテゾリズマブとベバシズマブの併用療法、ソラフェニブ、レンバチニブ、レゴラフェニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブのいずれかを導入された患者さん	
副部長 関 厚佳	アテゾリズマブとベバシズマブの併用療法、ソラフェニブ、レンバチニブ、レゴラフェニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブを導入された進行肝細胞癌患者において全身化学療法導入期間中の臨床データをすべて集積し、分子標的薬の使い分けの実臨床における安全性と有効性を検証する。	倫理委員会承認後から	2021年8月31日

船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
腫瘍内科	免疫チェックポイント阻害剤の効果と有害事象に関する研究Ver.3	2015年12月1日から2022年3月31日までに当センターで免疫チェックポイント阻害剤で治療を受けた患者さん	
部長 平野 聡	免疫チェックポイント阻害剤治療で効果のみられた症例や有害事象のみられた患者の臨床背景上の特徴を検討する。	倫理委員会承認後から	2021年11月30日
病理診断科	後ろ向き臨床検討「肺癌EGFR遺伝子検査の対象検体としての気管支鏡器具洗浄液の有用性の検討」	当センターで気管支鏡生検を実施し、EGFR遺伝子検査を実施された患者さん	
部長 清水 辰一郎	肺癌EGFR遺伝子検査の対象検体として気管支鏡器具洗浄液の検査結果を比較検討し、その有用性の検討する。	倫理委員会承認後から	2021年12月27日
心臓血管外科	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究(通称:MITRA PLUS)	2015年1月から2019年12月までに当院で、重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症で心臓手術を受けた患者さん	
部長 茂木 健司	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁置換術と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の臨床成績を後方視的に比較検討する。	倫理委員会承認後から	2022年3月18日
循環器内科	総大腿動脈の動脈硬化性病変に対する編み込み型ナイチノールステントを用いた血管内治療の後ろ向き実態調査 BURDOCK-CFA Registry	2018年12月から2021年12月までに当院で、総大腿膝窩動脈に動脈硬化性病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対し、編み込み型ナイチノールステントであるSUPERAステントを用いた血管内治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	総大腿膝窩動脈に動脈硬化性病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対し、編み込み型ナイチノールステントであるSUPERAステントを用いた血管内治療の実臨床における6ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を探索する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日
消化器内科	急性胆管炎における医療関連感染と市中感染の比較検討	2020年1月から2021年12月までに当院で、急性胆管炎と診断され、治療を受けた患者さん	
根本 裕貴	医療関連急性胆管炎の細菌学のおよび臨床学的な特徴を把握する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日
手術部	実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する検討	2018年1月から2020年12月までに術前ドレナージを行い、外科的根治手術を受けた患者さん	
部長 貝沼 修	肝門部胆管癌の手術症例に対して術前胆道ドレナージの方法別に合併症、予後を全国調査し、その有効性を検討する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日